

1 私たちの健康のすがた

はじめに

学習指導要領にどのように書かれているかを確認することから始めます。この単元は学習指導要領上の位置づけとしては、ア 健康の考え方 (ア) 国民の健康水準と疾病傾向の変化 の内容に該当します。

指導要領解説には、

わが国の死亡率、平均寿命、受療率など各種の指標を通して健康水準の動向を取り上げ、科学技術の発達や社会経済の発展に伴って健康水準が向上してきたこと、さらに、疾病傾向が変化してきたことを理解できるようにする。

と書かれています。つまり、まとめると以下のようになります。

【理解できるようにすること】

- 科学技術の発達や社会経済の発展に伴って健康水準が向上してきたこと。
- 疾病構造が変化してきたこと。

【理解させるために取り上げる内容】

- わが国の死亡率、平均寿命、受療率など各種の指標を通して健康水準の動向を取り上げる。

授業づくりの実際（指導と評価の一体化を意識して）

内容の取扱いの（8）には、指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。となっています。これは、「保健」の指導に当たっては、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、実習や実験、課題学習などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものです。

《例示》

【知識・理解】→指導方法と評価方法の検討

- 健康指標とは何か。
- 健康指標にはどのようなものがあるか。
- なぜ、健康水準が向上してきたのか。
- どのように疾病傾向が変化してきたのか。

【思考・判断】→指導方法と評価方法の検討

- 健康指標のグラフを提示して、そこから読み取れることをグループ討議する。
- 他国の健康水準について調べ、どうしてそういう状況なのかを考察する。
- 最近の健康問題を出し合い、なぜ問題になっているのかを考える。

【関心・意欲・態度】→評価方法の検討

- 今日の学習のどの場面でどのように評価するか。

上記の指導方法や評価方法を念頭に、指導内容の順序や発問の仕方、知識を活用する学習活動の取り入れ方などを工夫し、1時間の授業を組み立てていきます。

本単元のキーワード

「健康水準」「健康指標」「保健・医療サービス」「感染症」「生活習慣病」「あらたな健康問題」